



学校評価アンケート結果特別号

令和6年2月29日
京都市立北醍醐小学校
校長 山本 太郎
☎075-572-5353

令和5年度第2回「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果をご報告いたします。

本校教育活動について第2回目の学校評価アンケートを実施させていただきました。インターネットを活用した回答を導入させていただきましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力を賜り、学校評価アンケートを実施することができました。有難うございました。

児童、保護者、教職員へのアンケート11項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせ「実現度」として示させていただきます。

R5 第2回「学校評価アンケート」結果

児童	実現度		保護者	実現度		教職員	実現度	
	前期	後期		前期	後期		前期	後期
①学校に行くのは楽しい。	93.3%	90.8%	①お子さんは、安心して楽しく学校に通っている。	95.8%	97.2%	①「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	91.7%	100.0%
②友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	89.3%	93.5%	②お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	93.7%	92.5%	②互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身についてきている。	84.6%	87.5%
③自分からあいさつしている。	86.7%	84.3%	③お子さんは、家や地域で進んであいさつしている。	78.2%	82.9%	③進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するようになってきている。	92.3%	88.2%
④困ったときや分からないときなどは、先生に相談している。	85.3%	73.2%	④学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	90.1%	92.5%	④子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	91.7%	93.8%
⑤授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	86.7%	82.4%	⑤お子さんからは、授業で積極的に学ぼうとする様子が見える。	81.0%	79.2%	⑤ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身についてきている。	90.9%	92.9%
⑥学校や家で、自分から読書している。	78.0%	63.4%	⑥お子さんは、読書に親しんでいる。	67.6%	57.1%	⑥読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするようになってきている。	91.7%	100.0%
⑦家で学年に合った家庭学習をしている。（1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分）	78.0%	67.3%	⑦お子さんは、「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。	72.5%	74.5%	⑦授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	90.9%	100.0%
⑧学校のきまりや交通のルールを守っている。	94.7%	85.6%	⑧お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	90.8%	92.4%	⑧きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着してきている。	83.3%	93.8%
⑨毎日、決まった時間に早ね早おきをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	89.3%	80.4%	⑨お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。	92.3%	93.4%	⑨基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身についてきている。	90.9%	93.3%
⑩学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	95.3%	92.2%	⑩学校は、安全面における適切な配慮をしている。	96.5%	94.3%	⑩ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている。	81.8%	93.3%
⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。	92.7%	90.8%	⑪お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。	94.4%	85.8%	⑪児童は、縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりしている。	100.0%	80.0%

令和5年度 学校教育目標

仲間と未来を創造し 自ら学ぶ子どもを育てる ～やる気 粘り強さ 思いやりの心～

〈目指す子ども像〉

◎人と協働し考え合う子（主体的・対話的で深い学びを通して）

～友達と意見を出し合い、問題解決に向けて粘り強く取り組み考え続ける子ども～

◎人や物、自分を大切にすること（自尊感情や人権意識、社会的規範意識を育てる中で）

～命の大切さを考え、友達の気持ちを考えて相手を大切にしながら仲良く活動することができる子～

児童項目「①学校に行くのは楽しい。」保護者項目「①お子さんは、安心して楽しく学校に香っている」「②子どもは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。」児童項目「⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。」など項目の結果からは児童・保護者ともに実現度が9割を超え、友だちとの関わりを大切に、学校生活を送っている様子が見えかけます。学校教育目標である「仲間と未来を創造し」合える人間関係作りが築き上げられている部分でもあります。今後も楽しい・安心できる場所と思える学校であるために、相手を思いやる行動の実践を続けてまいります。そして、困っている友だちを放っておかない優しさや、誰に対しても同じ態度で接する公平さを大切にし、「やる気 粘り強さ 思いやりの心」を育ててまいります。

【R5 後期アンケート結果を受けて】

保護者の皆様から頂きました後期アンケート自由記述欄からは、学校の取組への感謝の言葉をいただく一方で、学校での気になる様子や安全面でのご意見、学校行事、PTAに対するご意見をいただきました。

本校では、毎日、子ども達が広い運動場で元気いっぱい遊んでくれています。一方で全学年が一斉に遊ぶ中、決まりを守って遊ぶことが安全面でも大切になります。楽しい活動の中でも約束をしっかりと守り、安全について正しく判断できる児童の育成を続けていきたいと思えます。

今後もそれぞれいただいたご意見をもとに、よりよい学校運営を目指し、改善点を探っていきたく考えています。